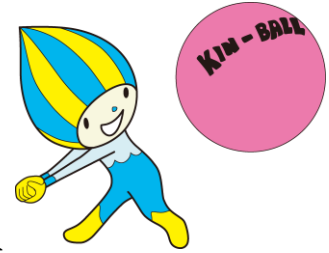


■ 岐南町（ぎなんちょう）

人口 約 26,145 人 面積 7.91 km²

【キンボール スポーツ】



岐南町は広大な濃尾平野の北部に位置し、北と西は境川をへだてて岐阜市、東は各務原市、南は笠松町に接しています。県庁所在地の岐阜市市街地へ国道21号で約5km、名古屋市へ国道22号で南へ約30kmの近距離にあり、交通の便に恵まれています。国道が交差する岐南インターは県下の交通量を誇り、東部には東海北陸自動車道の岐阜各務原インターチェンジがあり、奥美濃・飛騨方面や東名・名神高速道路へも容易にアクセスでき、今後ますますの発展が期待されています。



◎特産品「徳田ねぎ」

「徳田ねぎ」は、岐南町の徳田や上印食地域を中心に生産されている伝統野菜です。江戸末期、尾張で栽培されていたねぎの種子を譲り受け、八剣村（現在の岐南町）の人が「徳田ねぎ採種園」を作りました。そこで収穫した種子を近隣の農家に無料で配布したことで、付近一帯に普及したのが「徳田ねぎ」の始まりとされています。

◎伏屋獅子芝居

伏屋獅子芝居は地域住民の手によって150年を経た現在にまで受け継がれてきた伝統芸能です。岐阜県の重要無形民俗文化財の指定も受けているこの獅子芝居は伊勢の太神楽を発祥とする嫁獅子の流れをくみ、江戸末期に嫁獅子の開祖、市川竜之介に学んだ伏屋の東五郎が伝えたといわれています。



◎旧宮川家住宅

明治時代中期の生活様式を物語る岐阜県の重要民俗文化財です。明治26年（1893年）竣工の平屋で、「田の字型（4つの8畳間が整列）の室内には、仏壇や床の間、茶室、かまど、わら打ち石などが残っています。養蚕業や農業に関する資料2,300点を収蔵・展示する歴史民俗資料館に隣接しています。